

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL(03)3270-2701
FAX(03)3270-2720
緊急連絡 同上
改訂 平成18年6月27日

化学物質等のコード : 2030-1336

化学物質等の名称 : ピロリン酸すず()n水和物

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 毒性物質
危険性 : 不燃性
有害性 : 吸収したり飲み込んだ時、鼻、喉、気管、気管支等の粘膜を刺激し炎症を起こすことがある。目に入った時、異物感を与え、粘膜を刺激する。(毒物劇物取締法の劇物)

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名 : ピロリン酸すず()n水和物
成分及び含有量 : 97%以上(無水物として)
化学式または構造式 : $\text{Sn}_2\text{P}_2\text{O}_7 \cdot n\text{H}_2\text{O}$
分子量 :
官報公示整理番号(化審法): 1-1161
構造別分類コード(労安法):
CAS No. : 15578-26-4
EINECS No. : データなし
RTECS No. : データなし

4.応急処置

目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受ける。
吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、暖かくして安静を保ち、呼吸に異常が認められる場合は人工呼吸又は有資格者がいる場合は酸素吸入を行い、医師の診断を受ける。
被災者を直ちに空気のある新鮮な場所に移動させる。口内と鼻腔を水で洗浄し、必要な場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付いた場合 : 汚染した衣類等は速やかに脱ぎ捨て、触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸でよく洗い落とし、医師の手当を受ける。
接触した身体部位を水で洗い流す。汚染した衣類類は洗い落としてから着用する。
飲み込んだ場合 : 無理に吐かせてはいけない。
又意識のない場合には何も与えない。
水でよく口の中を洗浄する。可能であれば指を喉へ差し込んで吐き出させる。必要な場合は医師の診断を受ける。
大量の水を飲ませて速やかに吐かせる。必要な場合は医師の診断を受ける。

5.火災時の処置

消火方法 : 本品は不燃性である。周辺火災の場合速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周辺に散水して冷却する。消火水や希釈水の流出による汚染に留意する。散水作業の際には必ず保護マスク等の保護具を着用する。
消火剤 : 当該物質を巻き込んだ周辺火災に適切な消火剤を使用する。

6.漏出時の措置

飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。
漏出したものは粉塵を立てないように掃き集め、できるだけ空容器に回収する。
漏出した跡は多量の水で洗い流す。その際、排出液が河川等へ流れ込まないように注意する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意

吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
「作業終了後は手、顔等を水で良く洗う。」
取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散させないようにする。

保管上の注意

密閉して直射日光を避け冷暗所に保管する。
一定の場所を定めて保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

A. 管理濃度 設定されていない。

B. 許容濃度 日本産業衛生学会(年度版): 未設定

ACGIH(~ 年度版): 未設定

C. 設備対策

・屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。
・取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

D. 保護具

・状況に応じ、保護眼鏡、保護手袋、保護マスクを使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観形状特性 白色粉末

比重、高比重 4.0

溶解度 水に不溶。塩酸、アンモニア水、
ピロリン酸アルカリ溶液に可溶。

10. 安定性及び反応性

引火点 引火性なし

可燃性 データなし

安定性・反応性 通常の取扱い条件のもとでは安定である。

発火性 データなし

発火性(自然発火性・水との反応性) データなし

自己反応性・爆発性 データなし

酸化性 データなし

11. 有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

A. 毒性

1. 急性毒性 データなし

LD50(経口) ラット 3,805mg/kg(ピロリン酸すず()として)

LD50(経口) マウス mg/kg

LDL0(静脈) ラット mg/kg

LD50(吸入) ラット ppm/4H

TCL0(吸入) ヒト ppm

2. 亜急性毒性 データなし

3. 慢性毒性 データなし

B. 刺激性(皮膚、眼) : 眼に入れば刺激性があり、放置すれば粘膜が侵される

C. 感作性 : データなし

D. 変異原性 : データなし

E. 変異原性(微生物、染色体異常): データなし

F. 皮膚腐蝕性 : 皮膚を刺激し、発赤や痛みが起きることがある。

G. がん原性 : データなし

H. 生殖毒性 : データなし

I. 催奇形性 : データなし

J. 安全管理上の留意事項 : データなし

K. その他 : データなし

L. その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む)

: データなし

12. 環境影響情報

分解性 : データなし

蓄積性 : データなし

魚毒性 : データなし

その他 :

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物を自ら処理するか、または知事等の許可を受けた産業廃棄

物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。

該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

輸送に関する国際規制

陸上輸送	: データなし
海上輸送	: データなし
航空輸送	: データなし
国連分類番号	: データなし
国連番号	: データなし
国連分類番号及び国連番号	: データなし

15.適用法令

労働安全衛生法施行令等の一部改正
第18の2別表第9「名称等を通知すべき有害物」
毒物および劇物取締法 第二条別表第二「劇物」

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修 中央労働災害防止協会編

このデータは作成の時点においての知見によるものですがかならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。